古楽界で異彩を放つ
《濱田芳通＆アントネッロ》による
南蛮音楽と九州キリシタンの音楽劇を再び！

キリスト教が日本に伝来した16世紀、西洋医術も伝来し、初めての外科手術が行われました。
シーボルトが来日した江戸時代末期より、200年以上も前のことです。
大分市内にある「アルメイダ病院」の名前に冠された"ルイス・デ・アルメイダ"、彼こそが、
1557年に西洋式の病院を私財で開設し、医師としても大活躍した南蛮人。
鎖国以前の九州は想像以上に西洋的で、鉄砲、キリスト教、南蛮貿易品、西洋音楽、言葉や食べ物、
そして西洋医術も入ってきていたのです。
医師であり、貿易商人、宣教師でもあった彼は、戦国大名の大友宗麟など各地の領主らとも交流。
およそ30年にわたって九州一円から近畿地方へ旅をしてキリスト教を伝道し、日本人キリシタンの為に尽くしました。

濱田芳通
考案/構成/音楽監督/リコーダー

我が国初の私立音楽大学、東洋音楽大学(現東京音楽大学)の創立者を曾祖父に持ち、音楽一家の四代目として東京に生まれる。リコーダーとコルネットのヴィルトゥオーゾとして唯一無二の存在感を放つ。指揮者としての活躍も目覚ましく、主にオペラ創成期からバロックに至る初期の作品を精力的に上演している。また、南蛮音楽の研究をライフワークとしており、その成果としてCD「天正遣欧使節の音楽」リリース、芝居付き演奏会を各地で開催している。ホテルオークラ賞、サントリー音楽賞など多数受賞。

2021年11月 桜十字ホールやつしろ
「語りと音楽でつづる 天正遣欧少年使節の物語」公演より

〈濱田芳通 & アントネッロ〉

濱田芳通主宰にて1994年結成。以来、<作品が生まれた時のスピリット>を大切に、躍動感、生命力が備わった、音楽の持つ根源的な魅力を追求している。国内外にてCD録音多数。
古楽の解釈と演奏において第一線で活躍するグループとして常にメディアから高い評価を得ている。クラシック音楽の既成概念の枠を超えて純粋に『音楽性』を求めるその企画、作品は、クラシック音楽ファン以外からも注目と共感を集めている。
オフィシャル・ウェブサイト　https://www.anthonello.com/

©Yuji.N

中川詩歩 ソプラノ
(熊本市在住)

©Martin Chiang

中嶋俊晴 アルト

伊藤美恵 ハープ

©AcoMakyo

立岩潤三 パーカッション

©Martin Chiang

田尻健 テノール
(熊本市出身在住)

坂下忠弘 バス

上羽剛史 オルガン

〈朗読〉

野中民美代

〈演出〉

吉野良祐

〈台本〉**タナカ・ミオ**(八代市出身)

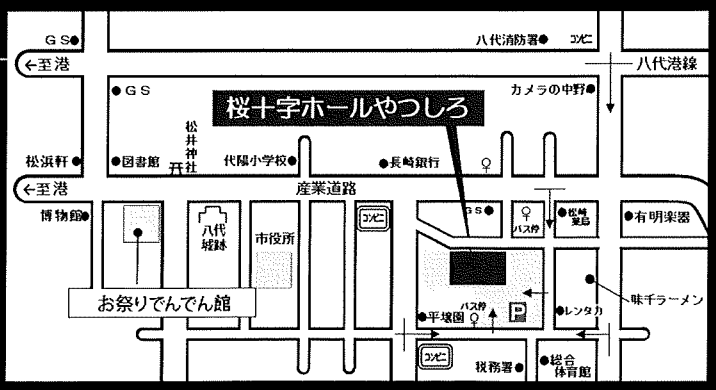
語りと音楽でつづる **宣教医アルメイダ**～西洋医術の伝来

【日　時】2025年9月7日(日) 14:00開演(13:30開場)

【会　場】桜十字ホールやつしろ 大ホール 熊本県八代市新町5-20

【入場無料】※入場整理券が必要です。受け取りの際に必要事項の記入をお願い致します。※未就学児は入場不可

【入場整理券 配布開始日】7月14日(月) 10:00より

【入場整理券 配布場所】桜十字ホールやつしろ／八代弘済会／八代市鏡文化センター／(公財)宮嶋利治学術財団／珈琲店ミック

【お問合せ】桜十字ホールやつしろ TEL.0965-53-0033
(または TEL.090-7455-9061 江崎)